

ご聖霊による助け

なぜ、待たされるのか3

愛する人々の救いのために祈る事の大切さを、私たちは学んできました。しかし、念仏のように同じ言葉を毎日、何度も繰り返して、祈りの量を増やせば良いのでしょうか。

どうも違うように思えます。祈りを聞いて下さるのは「心を見られる神様」です。

祈る私たちの側の、心や魂の準備がとても大切です。悪魔は世の様々な事を私たちの心に入れて来て、祈りを邪魔します。

私たちは祈り始める時、まず、父なる神様に呼びかけます。そして、イエス・キリストの十字架の血によって、自分の罪が全く除かれ、清められた事を告白します。さらに、御子により義とされ、罪の根さえもキリストと共に死に、心の内に復活の主が生きて下さり、神の子としての身分を頂いたことを感謝します。そこから、父なる神様への「とりなしの祈り」が始まっていきます。このように祈って行くとき、ご聖霊は導かれ、必ず聞いて頂けるという確信が与えられます。

聖書の学び

I、祈りにより聖霊が働かれる

1、キリストを信じる者は、祈りによって神のいのちを産み出すことができます。その事について、ヨハネ7:37、38から学びましょう。

①キリストの所で生ける水を飲んだ人。(ヨハネ7:37)



②その人(クリスチャン)の心の奥底から… 生ける水の川が流れ出るようになる。(ヨハネ7:38)

心の奥底 = ^{ギリシャ語} コイリヤ → 「胎」… 産み出す

2、いのちを産み出す事について、黙示録22：1～2を開きましょう。

①水晶のように輝く いのちの水 の川 ←←← 子羊の御座から出る (黙示22:1)

子羊の御座から出る いのちの水 = 救われた者に与えられる 生ける水の川
(ヨハネ7:38) (黙示22:1)

同じ言葉

②私たちの内におられる主が、私たちの祈りを通して、いのちの水を流れさせて下さる。

Ⅱ、祈りを実行する

1、さあ祈り出しましょう。まず、具体的な祈りの例を見ましょう。

ある人が弟の救いのために祈っていました。12年間ずっと祈っていましたが、何の成果も見られませんでした。彼女は弟のために「主よ、彼を救って下さい」とか「教会に導いて下さい」など祈りました。そして時々ライラして、自分の力で導こうとしました。弟に直接「神様を信じないとダメよ!」とか「そんなくだらないことしないで、一緒に教会に行こう」と言いました。この方法は逆効果で弟のプライドを傷つけ、反抗心を起こさせてしまい、弟の素行が悪くなり、逆に多くの問題を抱えてしまいました。そういう中、彼女は教会で祈りの学びを始めました。もっと具体的に、彼のために毎日祈り出したのです。

- ◎弟を覆っている「覆い」を神様が取り除いて下さるように。
- ◎弟が、私以外の神様を信じる人と出会い、感化を受けるように。
- ◎神様に対抗し自分の考えを優先する、弟の高慢の心が崩されますように。
- ◎神様に反対する全ての弟の心にある要塞が崩されますように。
- ◎弟が神様の武器を身につけられますように。

暫くすると、弟は病気になり入院しました。その苦しみの中で神様を呼び求めました。彼の心はイエス様を信じるように導かれ、教会に行き、やがて救いに導かれたのです。

2、最初の私たちに掛けられている「覆い」について、さらに学びます。
(Ⅱコリント4:3~4)

①この「覆い」は誰が掛けているのでしょうか？

②まずこの「覆い」を取り除いて頂けるように祈りましょう。この「覆い」を掛けて妨げられるのは神の光であり、光がないと次のことが分かりません。

- ・自分の本当の姿… 自分に罪があることが分からない。
- ・光がないので、神様の存在、神様の愛、イエス・キリストの救いが分からない。
- ・神様から逃げようとして、反発する。